

新人総合体育大会（北部男子）

リーグ戦

	掛川北	掛川西	掛川東	順位
掛川北		2 - 0	2 - 0	1
掛川東	0 - 2		2 - 1	2
掛川西	0 - 2	1 - 2		3

大会結果 優勝 掛川北 準優勝 掛川東 3位 掛川西

大会寸評

掛川市立西中学校 齋藤 孝浩

北部では、掛川市立北中学校が優勝を果たした。掛川北中は、安定したレシーブやサーブと、稲村や知念らレフトスパイカーによる力強いスパイクで試合を有利に進めた。また、セッター井出から出される平行トスを軸にした素早いコンビネーションで相手ブロッカーを翻弄していた。準優勝の掛川市立東中学校は、1年生セッター鈴木の安定したトスからスパイカー陣が得点を重ね、相手チームを苦しめた。また、キャプテン野口を中心に声を掛け合い、良い雰囲気の中、試合に臨んでいた。

どのチームも、良いレシーブ・良いトスからの攻撃は上手くできていた。しかしレシーブが乱れたときの処理が甘かったり、チャンスボールをミスにしていたりすると、レシーブやパスなどの基礎技術を底上げする必要がある。今後も継続して小笠男子バレー界の各チームがお互いを磨きあい、成長し合っていきたい。

優勝作文

掛川市立北中学校 井出 脩斗

僕たち北中男子バレー部は、新チームになってから、全国大会出場という大きな目標を持ち、日々の部活動に専念しています。まずは、新人戦、小笠大会での優勝に向けて、一体感のあるチーム作りに力を入れていきました。プレーの面では、柔軟性や体力作りにも力を入れ、サーブカットが苦手なチームなので、サーブからのバックアタックを含む速い攻撃を練習してきました。試合ではこうした攻撃を使うことができ、決まったときは、大きな達成感を得ることができました。マナー面ではまだ行動が遅いなど様々な課題があります。しかし、大会が近づくにつれてチームとしての緊張感が生まれ、少しずつ意識するようになりました。こうした一つ一つの意識で選手やベンチ、応援が一つにまとまり、戦うことができたので、優勝することができたと思います。今回の反省点を直し、チーム一丸となって頑張っていきたいです。